

駅前で待ち合わせる

ゆっくりと目が暮れ、

オレが立っている交差点も

静かに夜の色合いを帯びてゆく

明るい自然の輝きが消え、

人工の濁った光が闇を照らす

……少し早くしてしまっただろうだ。

待ち人を待つ時間が

一番大切な時間なのかもしれない

この先の出会いに色々と妄想がはかどるし、
上手くないかもしれないかもと不安も広がる

軽い動悸、不安と期待が胸を打って、

良くない予想が徐々にオレを支配する…

不穏な気配を助長した

少し長い赤信号の占滅から

音もなく緑の進めの色になる

……

おっ、来たなっ



横断歩道を横切る人混みの中に
オレの待ち人の姿が見えた

ガッガッ

た
た

ロングの少し明るめの髪、
白い首筋をデニムのコートが優しく覆い、
黒いタイツが長い脚を隠している

た
た



服の仕がらでも分かる胸の大きな膨らみが
彼女の女性らしさを強調している。

た
た

そんな女が人混みの流れに乗りながら、
オレを見つけると足早にこちらに
静々とやってきた。

ガッガッ

た
た

優しい笑顔がオレの前に広がる

お待ちせつ♪
翔君っ

やあっ
美咲さん

待たせちゃったかな？

やあ

イヤ……、

オレも今来たところ

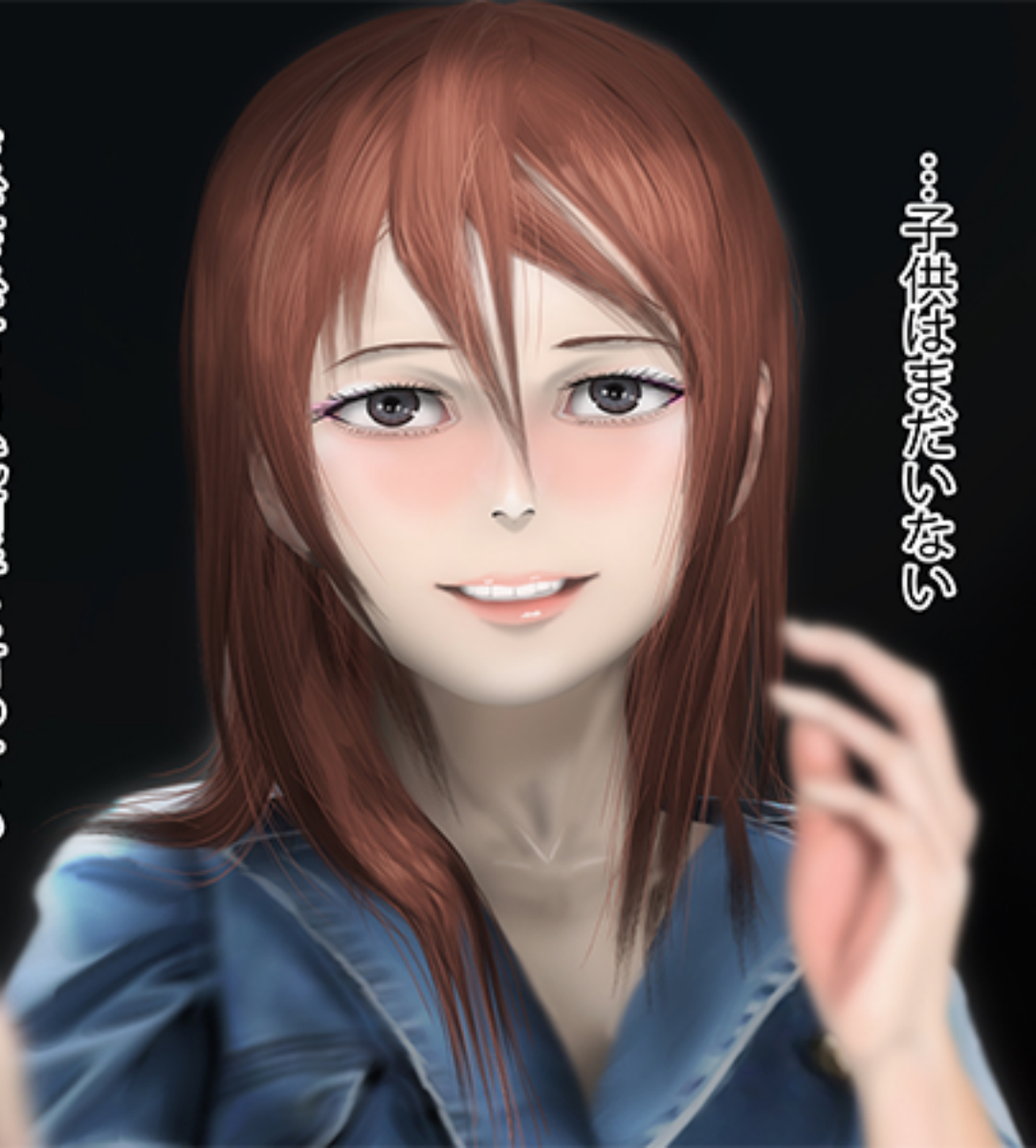
…そっかあ

井上美香 28歳

4年前に大手メーカーの同期の男、
オレの兄と結婚し、専業主婦となった

…子供はまだいない

まだまだ20代前半と言っても
通用するような容姿を持って余している…
アニメが忙しいこともあって、
弟のオレが力仕事や話し相手なんかの
お相手をよくするようになっていた



兄夫婦のマンションがオレの大学と
近かったこともあり、

よく美咲さんの元にオレの足が向いた……

あのっ……

翔君ねっ……

さっしり

…この前

連絡したように……

……どうもすみません、

実は美咲さんはオレにとって

ドストライクの好みの女で

ついつい彼女の元に通っていたんだ……

専業主婦特有の孤独と倦怠感の中、
美咲さんも話し相手ができず、
気分的に良かったみたいだし、
オレも彼女との会話は楽しかった…

今日だけ…

今日だけで…

んんん

……

明日から

「元に戻る」

んだよね

…しかし

アニキが出張でない日のこと

美咲さんの愚痴を聞いている中で

兄貴との夜の生活が全然…

なんてことを聞いた瞬間、

男として体が自然に動いてしまった…



不倫だ

……二人だけの秘密を持ってしまった。

気づいたら美咲さんをベッドに
押し倒して服を剥いていた…

血がつながってならいとはらうってせ
オレと彼女は**姉と弟**の関係…

…ヤバいとは分かってらってたんだけ…

止めなかつた。

*だめ
だめ…*

いけなら、兄貴を悪らうらうと思らば
ダメと言いながら股を濡らす
好みの女の前で消えた…

…初めての挿入

……**今** 思い留したただけでも**興奮**する。

半ば強引に押し倒された人妻…

…ああ、翔君…
ダメだよっ…

邪魔なパンストを引き裂いて

男の肉棒を美咲さんの

秘部にあてていた…

…無理っ

我慢なんて

できない…

いつもは聞かなくていいから響き、
美咲さんの女の部分を感じて
頭が沸騰しそうだ…

弱々しい否定とは裏腹に、

義姉はほんとにと抵抗しなら...



はっ はっ はっ はっ はっ はっ はっ はっ

ダメだよお

...だめえ、



夫の臭いの残るベッドで自淑な兄妻が
オレの凶行に興奮している...
義姉の下半身は義弟を優しく迎え入れ...

うっ…
うそおつ

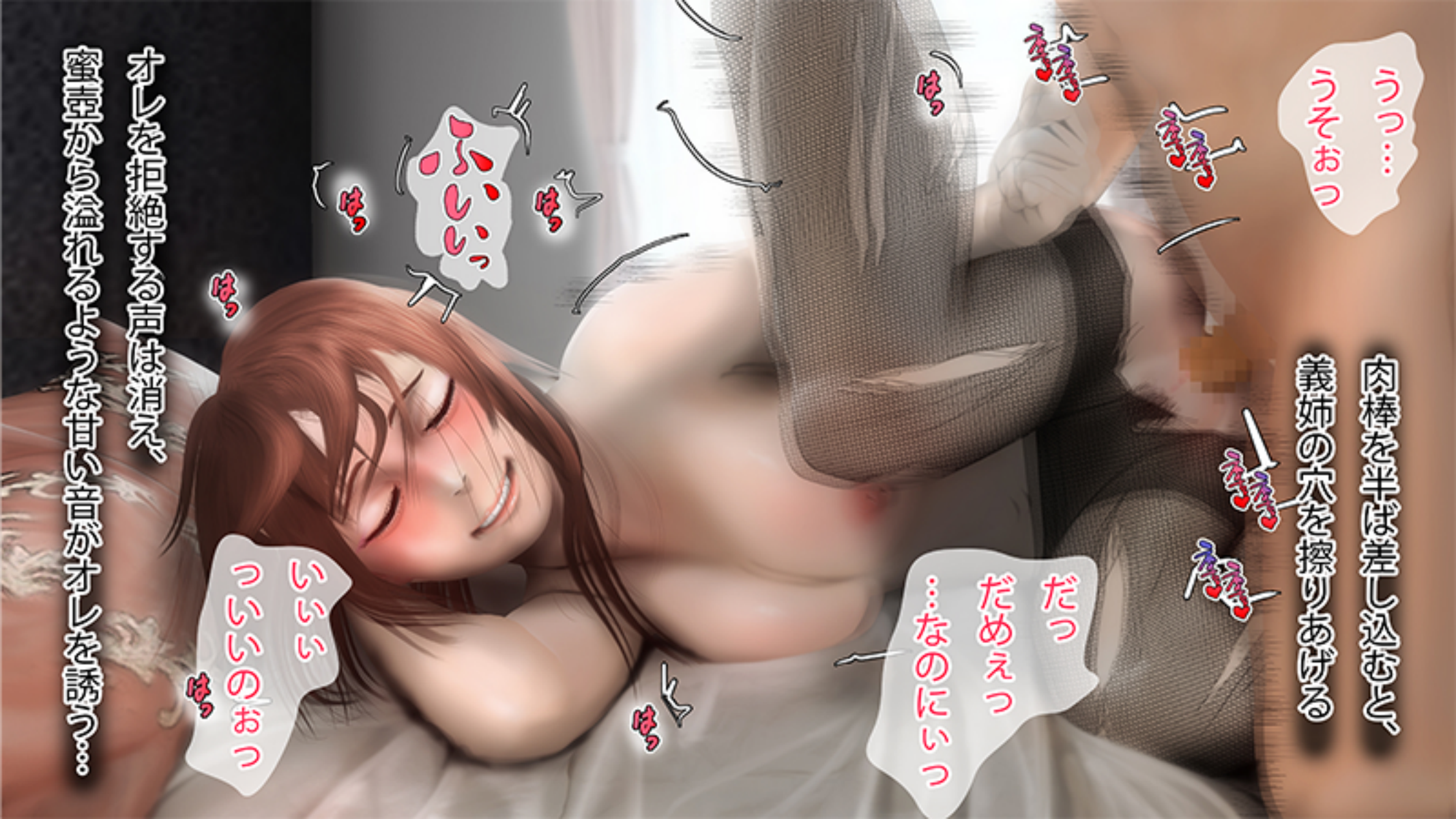
肉棒を半ば差し込むと、
義姉の穴を擦りあげる

だっ
だめえっ
…なのにいっ

いっ
いっ
いっのおい

オレを拒絶する声は消え

蜜がから溢れるように甘い音がオレを誘う…



「イケるっ」女の声を聞いた瞬間分かった

「一気に蜜穴の奥まで差し込むと」

ずんずん

ぬるぬる

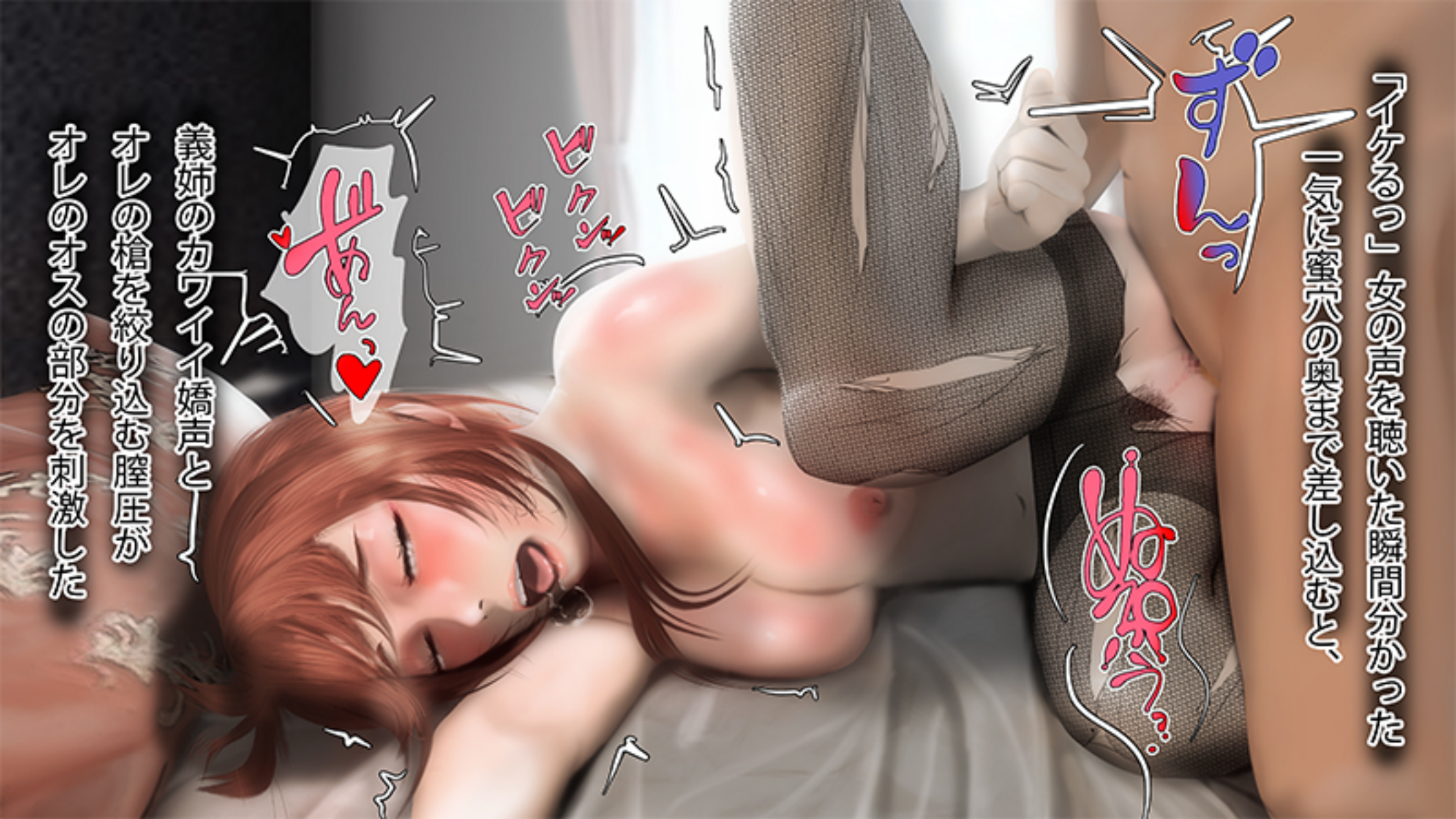
ピクピク
ピクピク

あゝん♡

義姉の可愛い嬌声と

オレの槍を絞り込む膣圧が

オレのオスの部分を刺激した



勢いに任せて下半身を振ると
本能に合わせて女が震えたした

感じてるんだっ

なにっ……

おれとのHをっ

あゝあゝあゝあゝあゝあゝ

美咲さんは

嘘つきだなっ

ちがあつ



女の嘘を暴きたい

いそいそ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

オレのチ○コで
感じてるっ

さきもさきも
いっくうい

あ

あ

嗜虐心がうずぎ

攻め立てるよつた肉をさっげてるっ

自分の興奮を自自するよつた

義姉の声が艶を増し、より喘ぐ……すごっ

あ

あ

あ

あ

美咲さんっ
気持ちいいっ？

ズズズズ

ズズズズ

おっおっおっおっ

んんん

おっおっおっおっ

いっいっいっいっ
おっおっおっおっ

んんん

あっあっあっあっ

いっいっいっいっ

あっあっあっあっ

んんんんんん

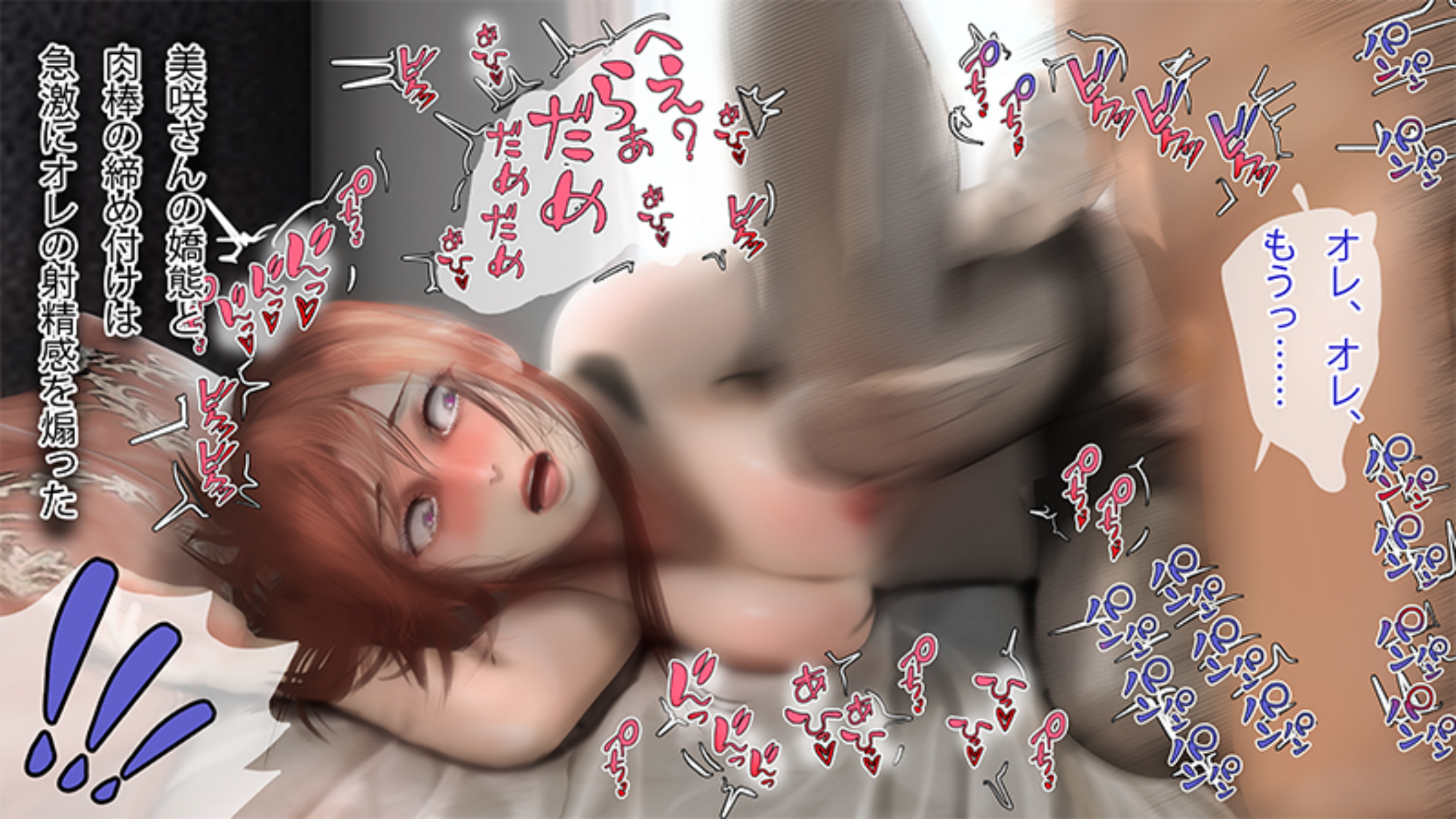
んんん

んんんんんん

あっあっあっあっ

んんん

絡みつくような膣の刺激をペニス全体で感じ
義姉の嘘をすりすりすると気がしてな〜…

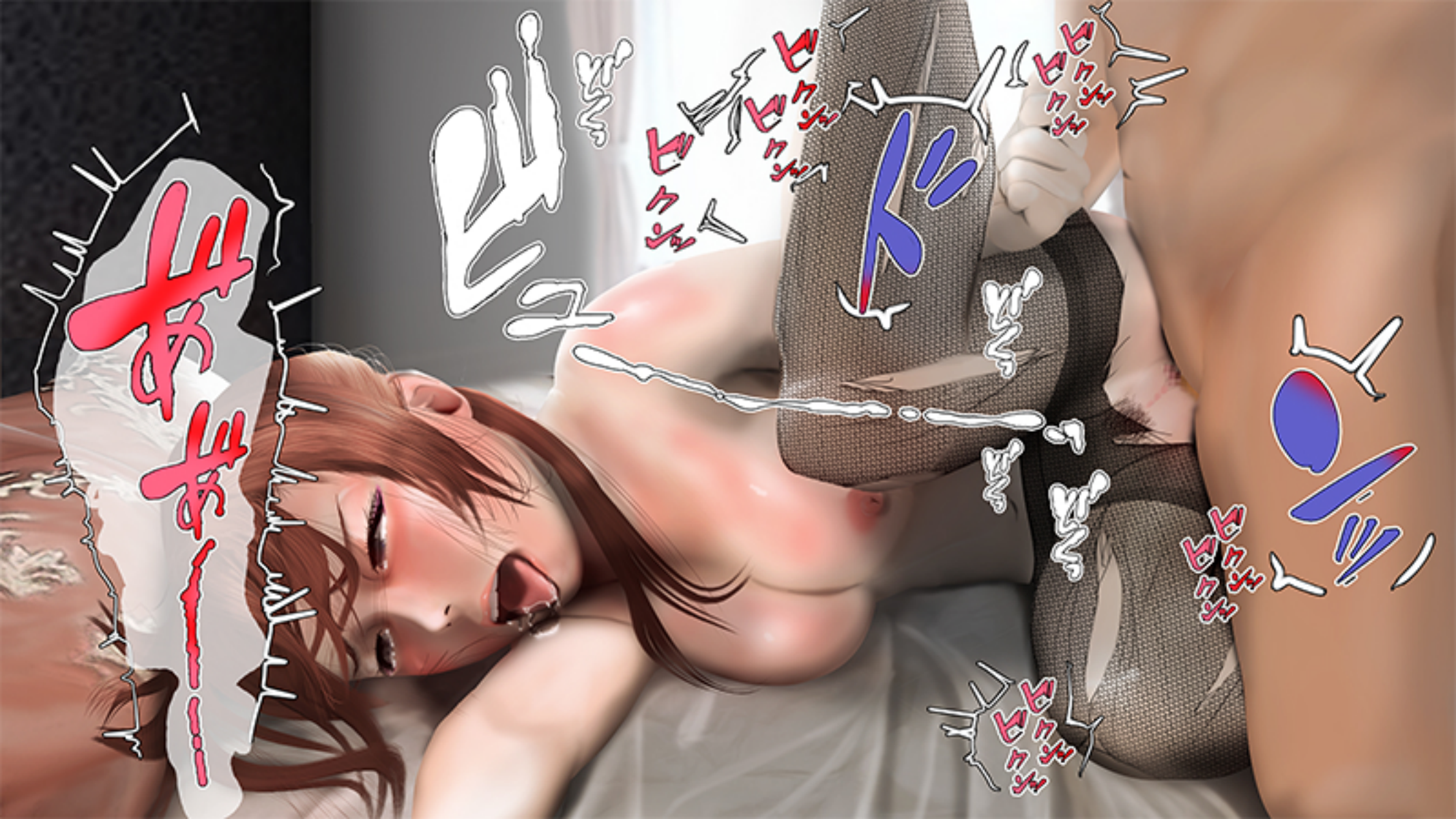


オレ、オレ、
もうっ……

だっ! あっ! くっ!
女 女 女
おっ おっ おっ

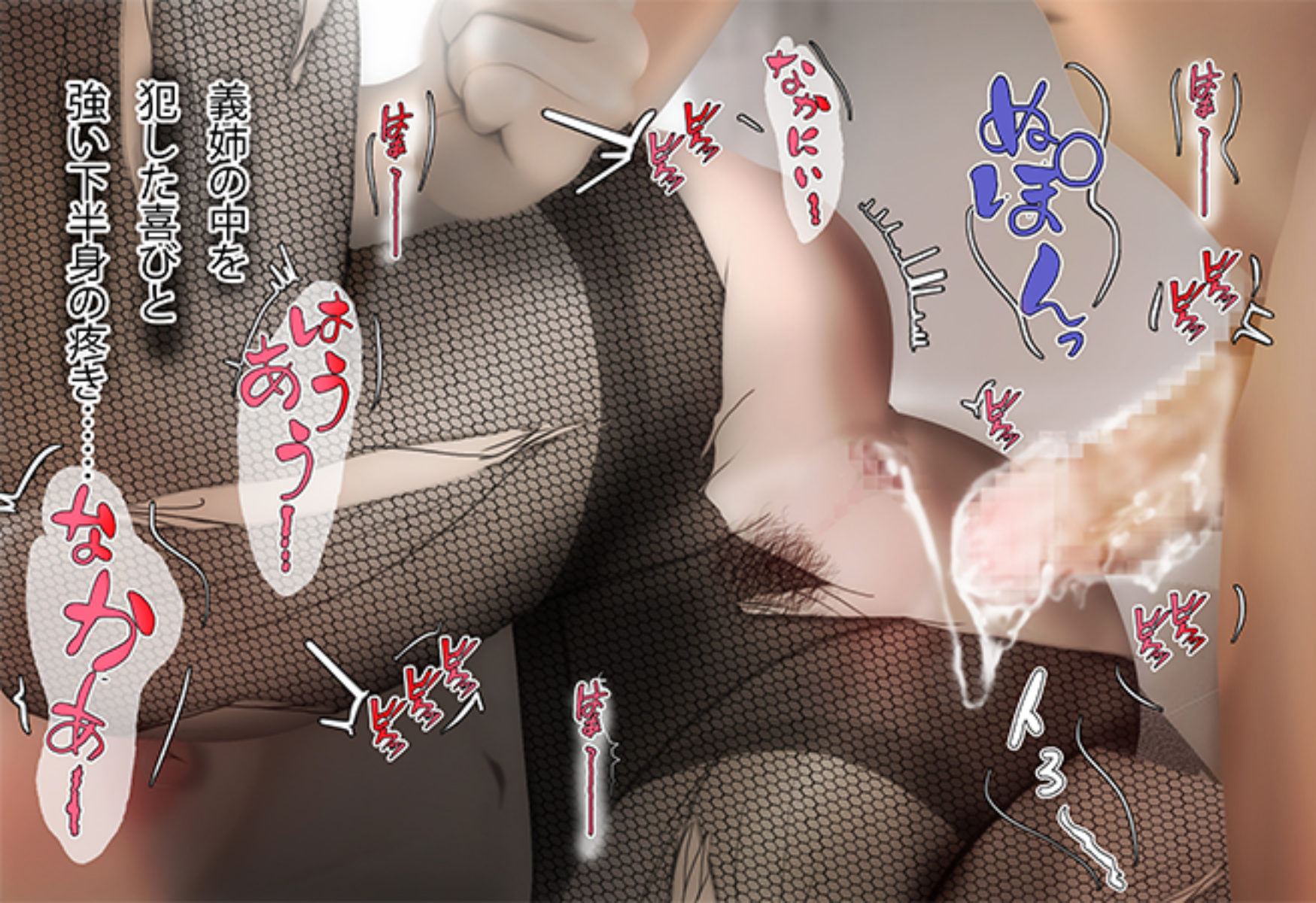
美咲さんの嬌態と、
肉棒の締め付けは
急激にオレの射精感を煽った

!!!





兄嫁の嘘を暴いた征服感と
中に吐き出した証明が眼下に広がった…



義姉の中を

犯した喜びと

強い下半身の疼き……

おっはー

あー

ぬほん

あー

おっはー

あー

うわあ

うわあ

うわあ

あー

ん

初めて感じた絶頂におさまらない興奮は
美咲さんをさらに犯していた…

あーっ

あーっ
あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ
あーっ
あーっ

あーっ

あーっ
あーっ

あーっ

あーっ
あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

止まらない射精……

兄の嫁の中を、外をオレが犯す……

アニキもやったことのない部分を穢す……

そんな喜びに応え、本能が絞り出すように
人妻をひどくくちやらかし汚してしまった……



。。。やばい、終わったと思った

でも、強姦、レイプともいえる情事後、
美咲さんは怒らなかつた

。。。それどころか

。。。人妻はオレに女の性を見つけた

インモラルな義姉との関係

夫に与えられなかつた満足

誰にもされたことのない膣内射精

二人だけの秘密

理由は色々あったかもしれないけれど...

とにかくオレ達は**ハマった**

暇を見ては二人で肉をぶつけて、

体を絡み合わせていったのだけども...

……しかし、ある日、転機が訪れる

翔君、

もうおしまいにしてしましよう

……というスマフォ画面の文字

唐突な文字の羅列に、

アニキにバレたか？と

冷たい汗が流れたけれど、

そっぴった事ではないらしい……

いけないことなのだ……

夫以外を男として感じ、

義弟のオレに溺れることが……

罪悪感に心の天秤が傾いたようだ……

……しかし、オレ達の逢瀬が止んでも
日常的には顔を合わせることができ、
会話の中で艶のある人妻を再び口説いた…

また、出会ったことになったのだ

今日だけなら……

そんなあいまいな返事に、

うまくいくかわからない不安を抱え、

久しぶりのドキドキと

以前の興奮を思い出しつつあるうちに

目的地に着く…

少し奥まった路地にあるラブホテルは

二人の「秘密」によく利用した場所

日常の生活空間から程よく遠く、

二人に急な呼び出しがあっても

すぐ帰れる都合のいいオレ達の非日常だ

……実は、オレは彼女の気持ちを確認がめるために「一賭けをした」

今日は美咲さんに「お願い」をして来てもらったんだ

プレゼント着けて
電車で来たの？

んー

くー

あっ

そのっ……

っ……

ふっとう何かを思いついた瞬間、美咲さんがオレから顔をそむけるが……

躊躇の後、美咲さんは何かを秘めるように
少し赤くなった顔をこちらに向け

そっか…やっぱり

付けてくれてたんでねっ

…翔君がどうしてもっ
ていうから…

はー

どきどき
どきどき

うんっ、中で見せてよっ
お願いだよ美咲さんっ

…君にだけなんだよっ

美咲さんの期待する態度に不安が霧散する

嬉しい言葉に伝えて

義姉の美尻を撫でまわすと

美咲さんの甘い肯定が返ってくる

あんっ

いまダメツ
はやくはいろっ

義姉は否定的な態度を

表面上で取り繕っても、

オレをコッソリ誘ってる…

不倫を止めようと言ってるが、

オレに伝えてほしいのは、色々な美咲さん…

…そうだねっ

だから、**もう一度**、

この人妻をたっぷり**寝取ろっつ**…

義姉堕とし

— 美咲をもう一度寝取る —